

工 事 名 郷土博物館電気設備改修工事

電 氣 設 備 特 記 仕 様 書

I 工事概要

1. 工事場所 網走市桂町
2. 建物概要

名 称	構 造	規 矩	模 式

3. 工事種目 ※該当は●印とする。

名 称	新 設	改 修	備 考
○ 幹 線 設 備			1 式
○ 動 力 設 備			1 式
● 電 灯 設 備		●	1 式 57年度施工配線図参照
○ 換 気 扇 設 備			1 式
○ 電話配管 設 備			1 式
○ 放 送 設 備			1 式
○ インターホン 設 備			1 式
○ テレビ共聴 設 備			1 式
○ 火災報知 設 備			1 式
○ 外 灯 設 備			1 式
○ 構内配電線路 設 備			1 式
○ 構内弱電線路 設 備			1 式
○ ガス警報器 設 備			1 式
○ 防火戸制御 設 備			1 式
○ 電気暖房 設 備			1 式
○ 自家発電 設 備			1 式
○ 受 変 電 設 備			1 式
○ 避 雷 針 設 備			1 式
○			1 式
○			1 式
○			1 式

項	目	建築	電気	暖房	衛生	備考
躯体の設備配管用のスリーブ及びボックス入れ		○	○	○	○	
同上 100 Ø以上の補強		○				
天井取付設備機器用穴あけ及び補強		○	●		○	天井電灯フック等
設備用天井、床下点検口		○	●			(100 Ø以上) 補強は建築
設備用機器用穴あけ及びモルタル充填			●	○	○	
設備用機械基礎		○	○	○	○	
防火戸の煙感知器、マグネット制御盤		○	○			
同上 1 次側電源			○			
換気扇の本枠、フード		○	○			

Ⅱ 電気設備工事仕様

1. この工事は図面および本仕様書に依り工事施工に必要な仮設、跡片付、支障物等の撤去をもって工事の範囲とし資材その他一式を請負とする。
2. 図面および特記仕様書に記載されていない事項は、すべて建設大臣官房官庁営繕部電気設備工事共通仕様書（56年版）・電気設備工事標準図（56年版）・ならびに電力会社の供給規定による。
又網走市契約に関する規則を厳守の事。
3. 特記仕様の取扱いについては該当するものに●印をつけたものを適用する。

項	目	特	記	事	項
---	---	---	---	---	---

- | | |
|--------------------------|---|
| 1.材料製造所等 | <p>材料の製造所、商品、施工業者等は、特記されたもの、又は同等品以上とする。ただし同等品以上とする場合は監督員の承認を受ける。</p> <p>尚本工事に使用する主要資材のうち、道内で産出、生産又は製造される資材等で規格、品質等が適性である場合には、これを優先的に使用するよう努めるものとする。</p> |
| 2.特別な材料の工法 | <p>共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p> |
| 3.工 事 写 真 | <p>網走市建設部建築課官繕工事記録写真撮影要領による。</p> |
| 4.電 気 工 事 士
(技 能 士) | <p>主要部分については電気工事士（技能士）に施工させる。またその他の工事についても電気工事士（技能士）に施工させるよう努める。なお工事名、担当電気工事士（技能士）名を書面をもって監督員に通知する。</p> |
| 5.交通安全対策 | <p>請負者は、工事の施工にあたり交通事故防止に充分留意し、下記事項を遵</p> |

1 一般事項

- (1) 土砂及び工事用資材、機材等の運送計画案には車輛の運行に係る安全対策に留意し、運行路線については、道路管理者及び管轄警察署との緊密な協議により選定するとともに、常時点検を実施し、安全確保について必要な措置を講じなければならない。
 - (2) 下請負にかかるものを含め安全運転管理状況を把握し、その状況を適宜監督員に報告する。
 - (3) 工事に関連して発生した交通事故（物損事故を除く）及び工事従事者の悪質な交通違反は監督員にその都度報告する。
 - (4) 適法な運送業者などによる運送を確保することにより資材の過積載等に伴う交通事故の防止を図る。

6. ~~完成図の作成~~ ~~全図マイクロフィルムにて縮少し、製本の主提出（B-4版一部）~~

7. 発生材の処理 ○引渡を要する ●引渡を要しない

8. 季節労働者などの雇用 工事施工に際しては、職業安定機関と密接に連携いを取り、季節労働者などの雇用の拡大をはかるよう努めるものとする。

9. 諸 届 出 工事に必要な諸届出、報告は全て請負人が行う。

10. 工事日誌、材料検収簿等 請負人が作成し、15日毎に提出の事。但し材料検収簿はその都度とする。

11. 施 工 図 施工図等については、施工10日前に監督員に提出し承認を受ける事。

12. 危 険 防 止 適切な処理をすると共に、現場内の資材の管理についても充分注意の事。

13. 打合せ簿の作成 請負人に於て作成し監督員、現場代理人両者捺印し、2部作成のうえ相互1部保管する。

14. 下請等について 本工事に使用する下請については、市内業者で施行できるものについては優先的に使用するよう努めるものとする。又請負人は施工を下請負人任せとせず全般を管理並に指導する事。尚下請人は書面を持って提出の事。尚建設業法の許可を受けていない下請については認めないものとする。

15. 工 事 標 識 ○設ける（ 号様式）●設けない

16. 下請業者等への支払の適正化 下請業者及び資材業者に対する支払いについては原則として現金払いとする。但し、やむを得ず竣功払い手形払等をするときは当該期間を短くするよう努めるものとする。

17. 一部施工の確認及び報告 施工の一工程を完了したときは、その施工が設計図書に定められた条件に適合することを確認する。また、確認した事項を適時監督員に報告する。

18. そ の 他 (4) 電気、設備、各種管工事、躯体工事より先行するよう余裕を...

1. 監督員事務所 ○設ける (・1号・2号)
●設けない
2. 工事用水 構内既存の施設 ○利用できる。(有償) ○利用できない
3. 工事用電力 構内既存の施設 ●利用できる。(有償) ○利用できない
4. 安全仮囲い
5. その他
- 1). 展示物、ガラス製陳列ケースは、シート等により養生し、破損のしないうちに注意のこと。
- 2). 現場内の清掃は、その都度とし、又来館者になど十分に注意を払うこと。

1. 使用機材
2. 試運転調整
その他
3. 参考図
4. ~~結露防止~~
5. ~~接地工事~~
6. ~~接地極埋設位置
の表示~~
7. ~~機器への接地~~
8. 電線管
9. 位置ボックス
~~フルボックス~~
10. ブレード
11. 配線器具
12. ~~呼び線~~
13. ~~配管の塗装~~
14. ~~予備スリーブ~~

素材はすべて新品としJIS又は型式承認合格品とする。使用資材のメーカーリスト、主要機材の承認図を作成し提出のこと。
 工事に必要な関係官公庁および電力会社の申請、手続並に試運転調整費等の費用はすべて請負人の負担とする。
 図中参考図の姿および寸法は概略寸法とする。
 外部に面する壁、天井面等に取付ける、盤、ボックスの裏面を断熱処理する。
 避雷針、避雷器の接地は銅板(1000×1000×1.5t)とする。
 上記以外の接地は銅又は銅覆鋼製接地棒(60φ以上)とする。
 必要とする(表示板は黄銅板とし文字は該印又は腐食加工とする)
 必要ない
 低圧機器への接地は機器への配管を接地導線に代えることが出来る。
 ①薄肉電線管 ②導銅電線管 ③厚銅電線管 ●メタルモール(露出引込部分)
 ④ポリエチレンライニング鋼管 ⑤硬質塩化ビニル管 ●Fモール(陳列ケース部分)
 共通仕様書の位置ボックス使用区分、プルボックス使用区分に準ずる。
 ●配線器具用ボックス ～ メタルモール用ボックス
 ●シヨウトボックス ～ 1F天井、0、B119×54、6寸高プレート、2F天井、ドケツリル
 ①ステンレス ②金属 ●新金属 ③樹脂製 ④真鍮 ⑤絶縁棒付 シヨウトボックス大。
 フロアボックスに取付のものは絶金製水平高低調節プレートとする。
 ●連用大型 ①連用型 ②単一型 ③複式型
 すべての空配管にはビニル被覆鉄線1.6φを挿入し用途を木札にて表示する。
 露出配管は指定色2回塗り塗装仕上げとする。
 RC建造物に於て、大梁・小梁の予備スリーブ(φ50%)を各1ヶ所以上とすを原則とする。

- | | |
|--------|--|
| 4 幹線設備 | 1. 電 気 方 式
2. 施 工 範 囲
3. 電線、ケーブル |
| 5 動力設備 | 1. 電 気 方 式
2. 施 工 範 囲
3. 電線、ケーブル
4. そ の 他 |

●電灯 10 3 線式 200V 50Hz
○動力 3Ø 線式 200V 50Hz
○埋込いんべい○露出○配管○配線○ケーブルラック○ダクト○器具付
●57年度工事にて改修完了。

- 6 電 灯 設 備
1. 電 気 方 式
 2. 施 工 範 囲
 3. 電 線 ケーブル
 4. フロアコンダクト
 5. 照 明 器 具 の
吊 ホールド
 6. 放 電 灯 用 安 定 器
管 球

$\frac{200V}{100V}$ 50Hz
 10 3線式
 ●埋込いんべい ●露出 ●配管 ●配線 ○ケーブルラック ○ダクト ●器具付
 ○1V ○VV F ○VVR ○CV ○

~~●埋込形 ●回転形 ●ツイストロック形 ●ステイディング形~~
 蛍光灯 40W×1灯用および20W×2灯用以上の取付は ボルト

(0.9%以上) 2本以上を用いて構造材に吊下げ支持する。

(1) 環形ランプおよび30W以下のランプ (FCL)

グロースター方式 低力率

(2) 防雨形、防湿形の20W以下のランプおよびホームライト (FCL、FL)

グロースター方式、低力率

(3) 20Wおよび30Wのランプ (FL)

グロースター方式、高力率

(4) 上記以外の場合 ラビットスタート方式、高力率

(5) 水銀灯の類 ○低力形 ○高力形 ○低始動電流型

○配管 ()

予備回路の (VVF 20-20) は予備回路ごとに下記の通りとする。

~~天井スラブの場合 天井又は梁下20.0%迄吊下げアウトレットボックスに丸筒プレート取付とする。~~

2重天井の場合 天井内まで突出とする。

予備品として蛍光灯および白熱灯の全数量の2%を納入。(兼取付用)

FL 40wR ~ 25本
 FL 20W ~ 25本 (ローランプ用)





名 称 郷土博物館電気設備改修工事設計図

図面名	電気設備特記仕様書	SCALE	1:1
図面名		SCALE	1:1

課 建 築 市 走 網

全	葉	No
6		

設計年月日
昭和58年 4月 日

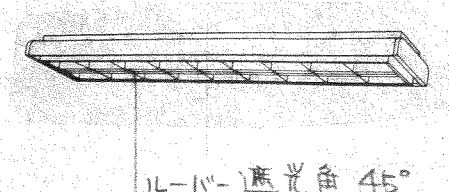
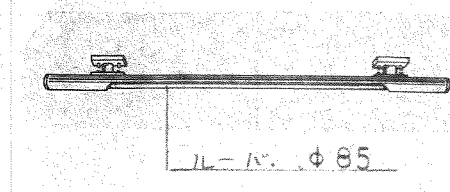
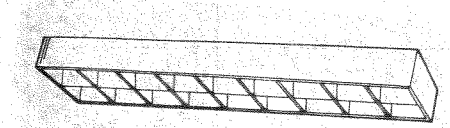
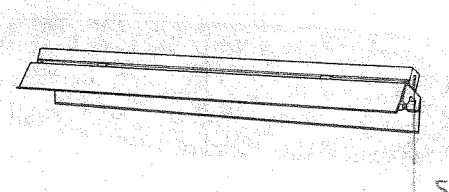
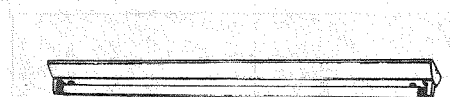
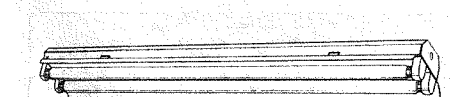
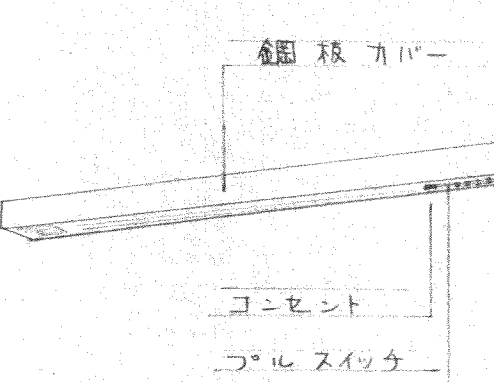
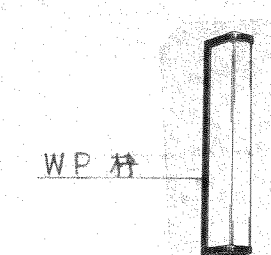
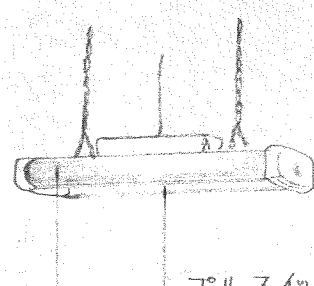
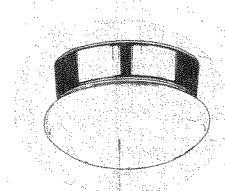
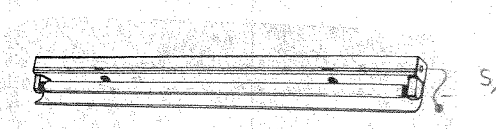
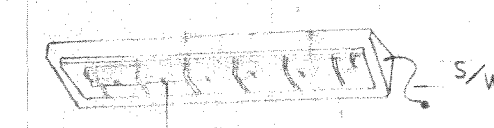
課長係長設計製図	設計	級建築士登録	第	号
   				

凡例

記号	名称	規格	数量	備考
(幹線設備)				
WHIS	引込用内巻	MCB 3P60A 屋外耐塩	1面	57年度施工
■	分電盤 (L-1)	M ^b ELB 3P60A MCB 1P20A×12	1' "	"
■	" (L-2)	M ^b MCB 3P50A MCB 1P20A×10	1' "	"
⊕G	漏電警報器	100A ZCT屋外兼通型	1台	"
(電灯・コンセント設備)				
⊕A	蛍光灯	FL 40W×2-SUH ILH-付	16台	58年度施工
⊕M	"	" 40W×1-UH	2' "	"
⊕C	"	" 20W×4-GH ILH-付	3' "	"
⊕D	"	" 20W×2-GH	4' "	"
⊕I	"	" 40W×1-GPL ハロゲン管球	1' "	"
⊕L	白熱灯	1L 60W 4等型	1' "	"
⊕	埋込引掛コンセント	2P15A×1 B ^{ox} DIB 1220×44付	4' "	"
⊕3	" 連用 "	2P15A×3 B ^{ox} X2LE-11A 1等用	24' "	"
⊕2	" " "	2P15A×2 " " "	4' "	"
•	" " スイッチ	1P15A×1 " " "	3' "	"
⊕	ジョイントボックス	B ^{ox} GB 1190×54付 丸蓋アールト	7' "	"
⊕	" " "	フケ-フル用 (大)	1' "	"
(陳列ケース照明設備)				
⊕Ms	蛍光灯	FL 40W×1-UH スイッチ付	2台	58年度施工
⊕Ns	"	" 20W×1-GH	22' "	"
⊕Os	"	" 40W×1-UH スイッチILH-付	4' "	"
⊕Ps	"	" 20W×1-GH	9' "	"
⊕	テ-フルランプ	10A 125V 3等	8' "	"
⊕	ビ-ルフード	125=20 (50cm) 小形形	"	"
⊕	差込プラグ	平型 10A 125V	45' "	"

姿図

* ●印は紫外線防止蛍光管球

A	FL 40W×2-SUH ●	B	FL 40W×1-UH ●	C	FL 20W×4-GH ●
	 ILH-付 遮光角 45° (FA-42599-SUH)		 ILH-付 φ85 (NF-41370-UH)	D	FL 20W×2-GH ●
					 (20W×4-NF-24560-GH) (20W×2-NF-22560-GH)
E	FL 40W×2-SUH	G	FL 20W×1-GH	H	FL 40W×2-SNH ●
F	FL 40W×1-UH				
Fs	FL 40W×1-UH-S/W				
	 S/W (40W×2-フットア-420-SUH) (40W×1-フットア-411-UH)		 (FSS4-201)		 (FSR1-402)
I	FL 40W×1-GPL (ハロゲン管球)	J	FL 20W×1-GH (防雨軸)	K	FL 20W×3-GPL
	 鋼板カバー コンセント フルスイッチ (HN-5402-GPL)		 WP 杆 (FBF5-RP-201)		 フルスイッチ 透明アクリルカバー (HR-674-GPL)
L	IL 60W	M	FL 40W×1-UH ●	Os	FL 40W×1-UH-S/W ●
		N	FL 20W×1-GH ●	Ps	FL 20W×1-NH-S/W ●
		Ms	FL 40W×1-UH-S/W ●		
		Ns	FL 20W×1-GH-S/W ●		
	 ガラス 2等フ (LB-56511)		 S/W (40W-FBS3-401) (20W-FBS3-201)		 S/W アルミ鏡面仕上 (40W-NF-41552-UH) (20W-NF-21552-NH)

名称 近世博物館電気設備改修工事設計図

図面名 凡例

SCALE 1:

図面名 姿図

SCALE 1:

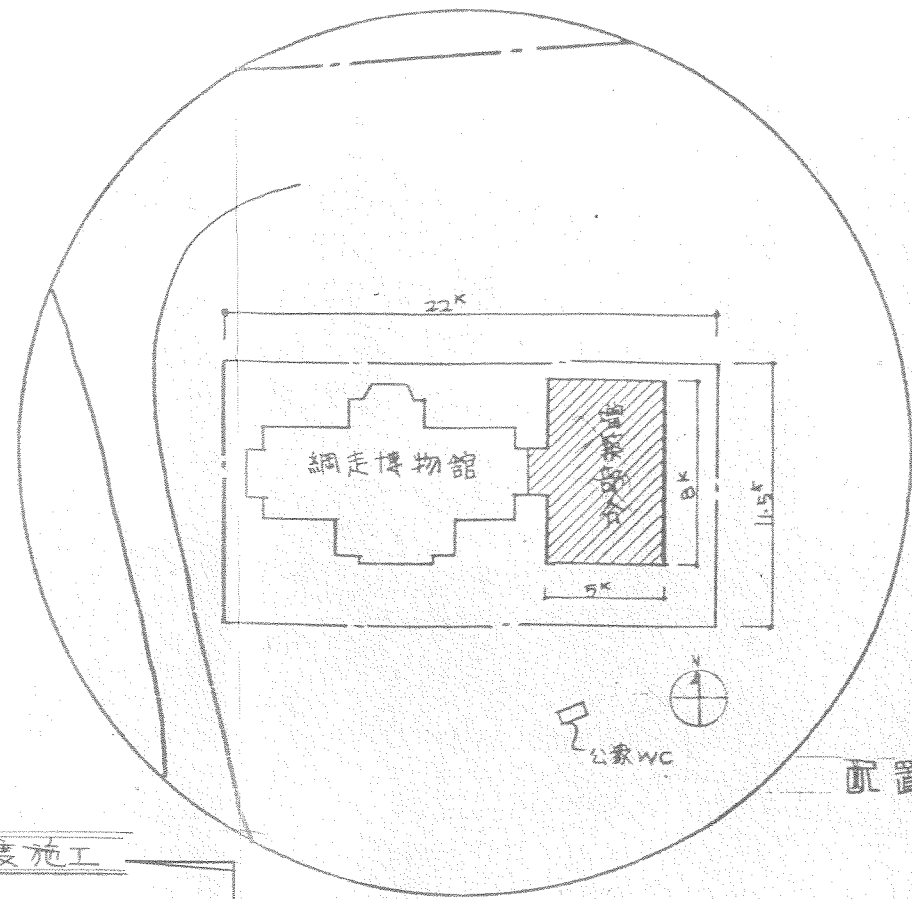
網走市建築課

課長 係長 設計 製図 設計年月

設計 級建築士 登録 第 号

58年4月

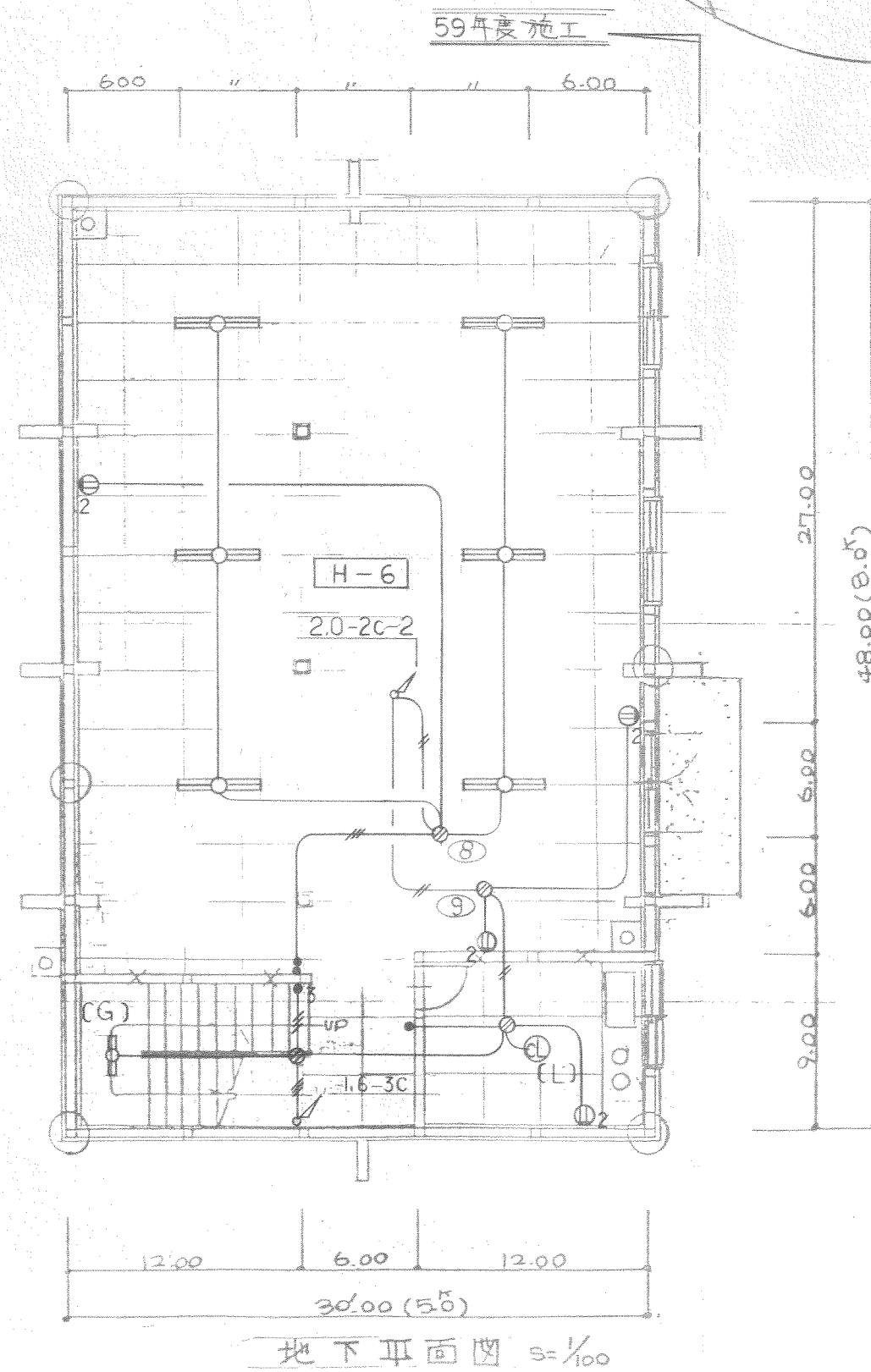
NO 2/6



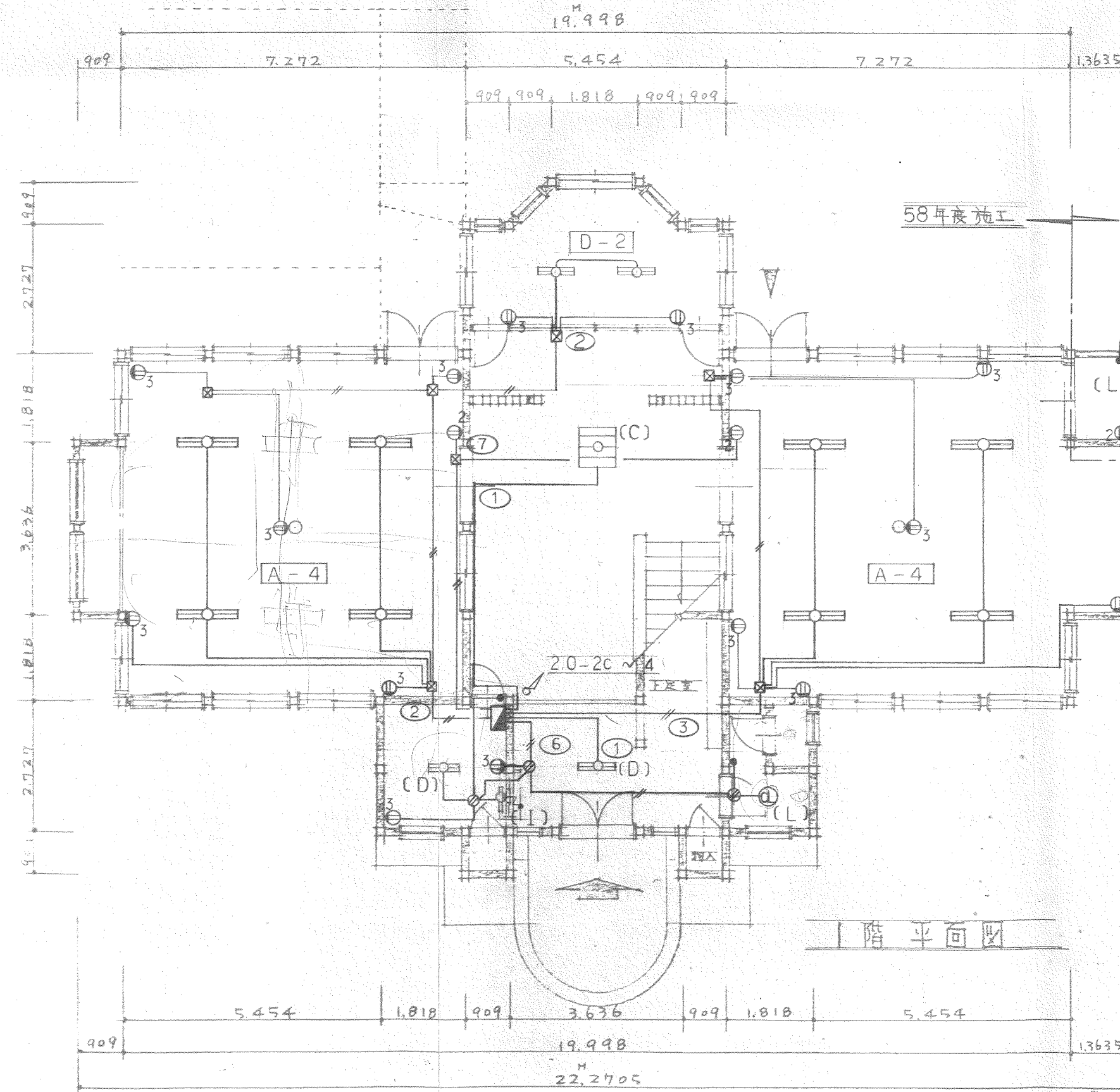
配置図 1/600

面積表		
	M ²	(坪)
1 階	197.485	59.750
2 階	189.222	57.250
3 階	16.224	4.908
計	402.931	121.908

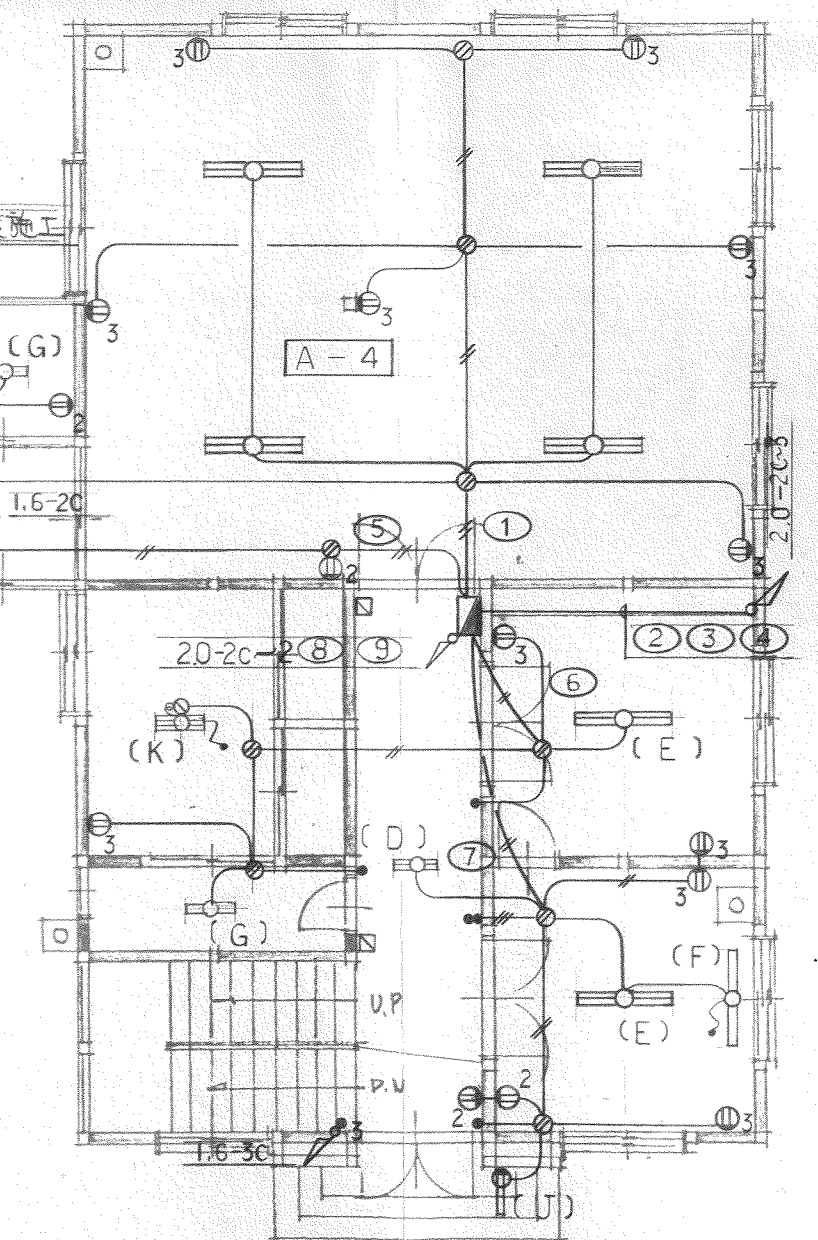
面積表		
地	下	123.23m ² (40.00坪)
1	階	123.23 (40.00坪)
2	階	123.23 (40.00坪)
1.2 階	接入口	12.03 (3.64坪)
延	坪	381.72 (123.64坪)



地下平面図 1/100



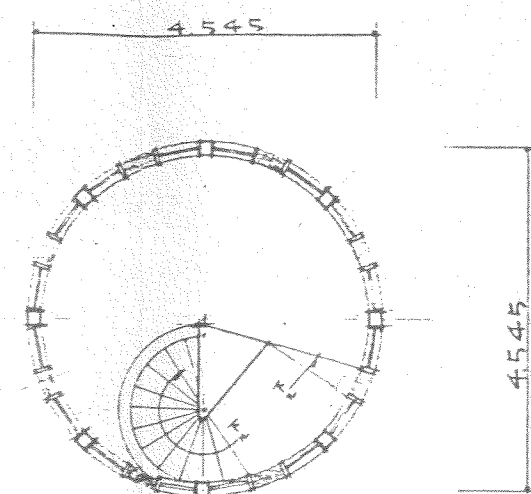
1階平面図



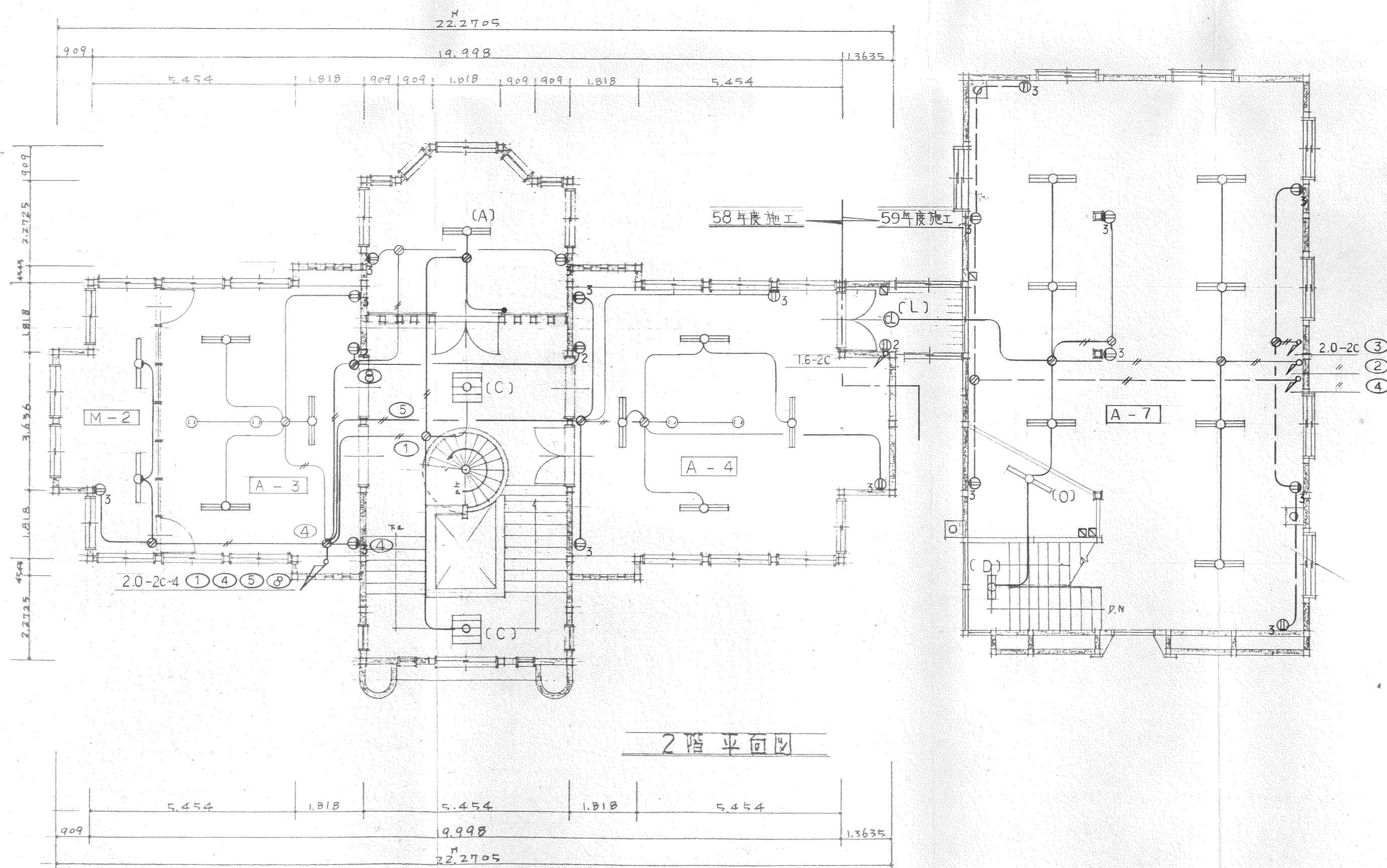
※ 特記配線は次の通り
 — VVFケーブル 1.6-2c
 — 〃 〃 1.6-3c
 — 〃 〃 2.0-2c
 □ 角形プレートを示す。

工事仕様

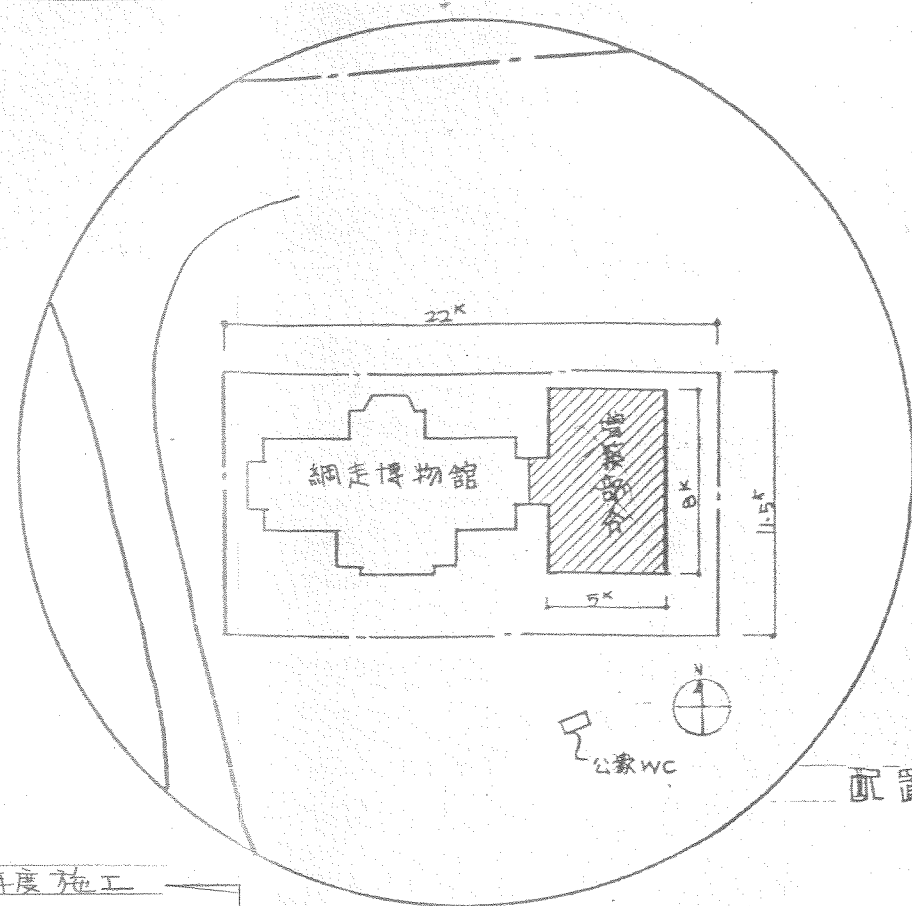
- 1). 配線は VVF ケーブル工事とし、天井部分は U 字パイプ配線、壁面引下部分にメタルモール露出配線工事とする。
- 2). 特記なし配線は次の通り
 VVF ケーブル 16mm²-2c
 〃 〃 〃 16mm²-3c
 〃 〃 〃 20mm²-2c
- 3). 1 階天井の配線、照明器具用吊木は 2 階床面を利用し施工し、工事完了後に補修する。
 2 階天井の施工は小屋裏改修口を利用する。
- 4). 配線器具の取付高さ (cm) は次の標準とする。
 スイッチ 床より 1,200
 コンセント 〃 300
- 5). 既存の照明器具、配線器具、分電盤、露出配線はすべて撤去し、器具跡の補修は石膏ボード、パテ等で補修し仕上げる。
- 6). 陳列ケース内の配線はビニルコード (小判形) (25mm²-2c) V F モール (茶) にて保護する。



3 階平面図

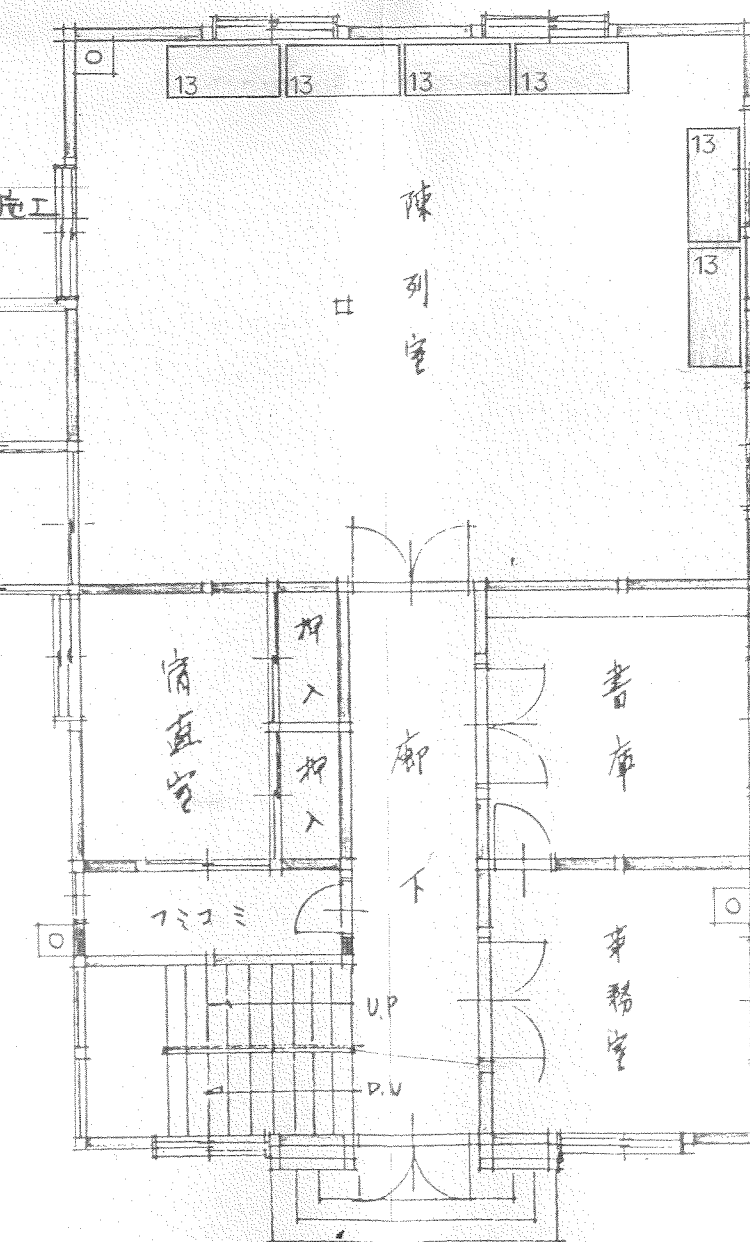
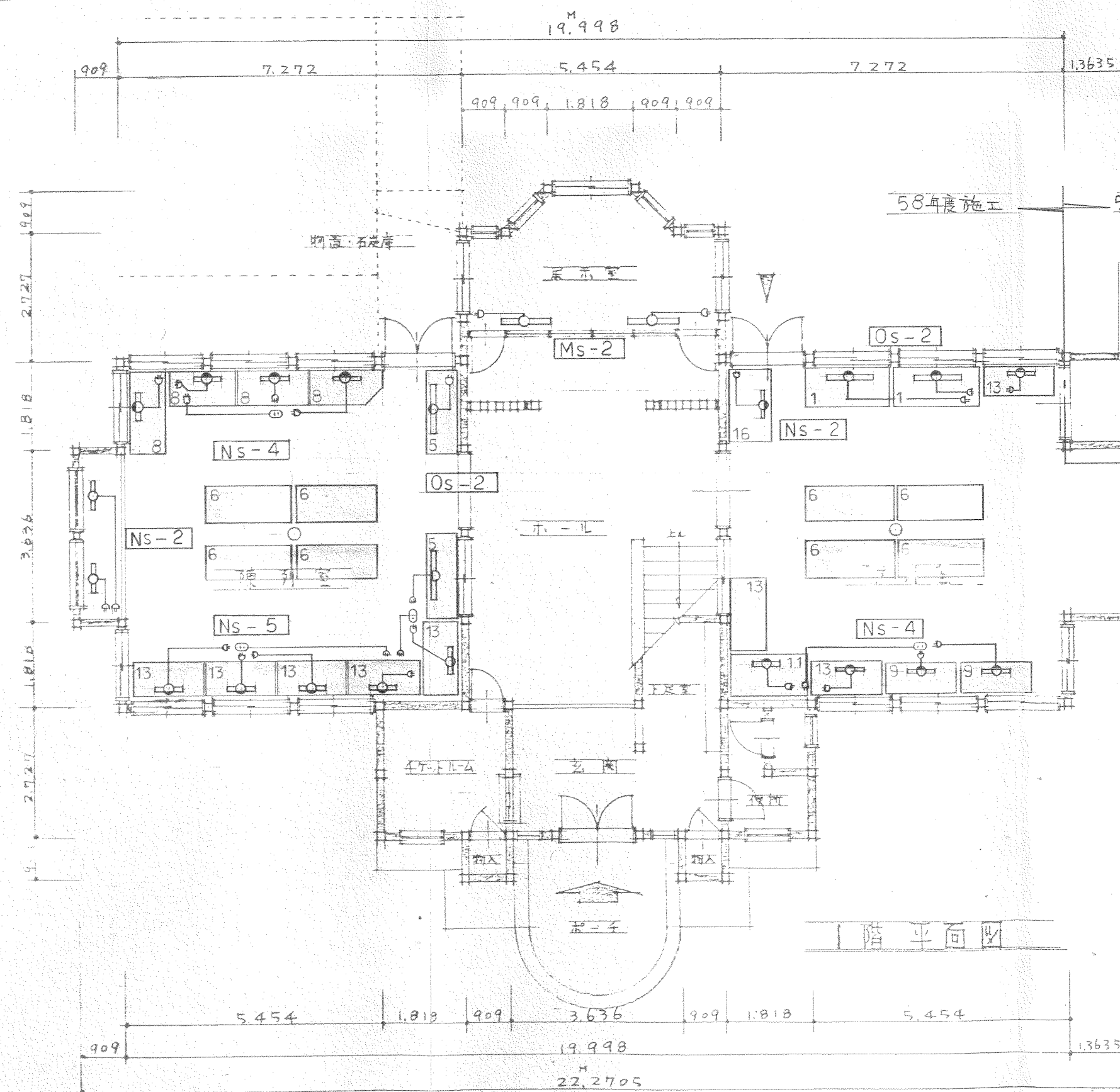
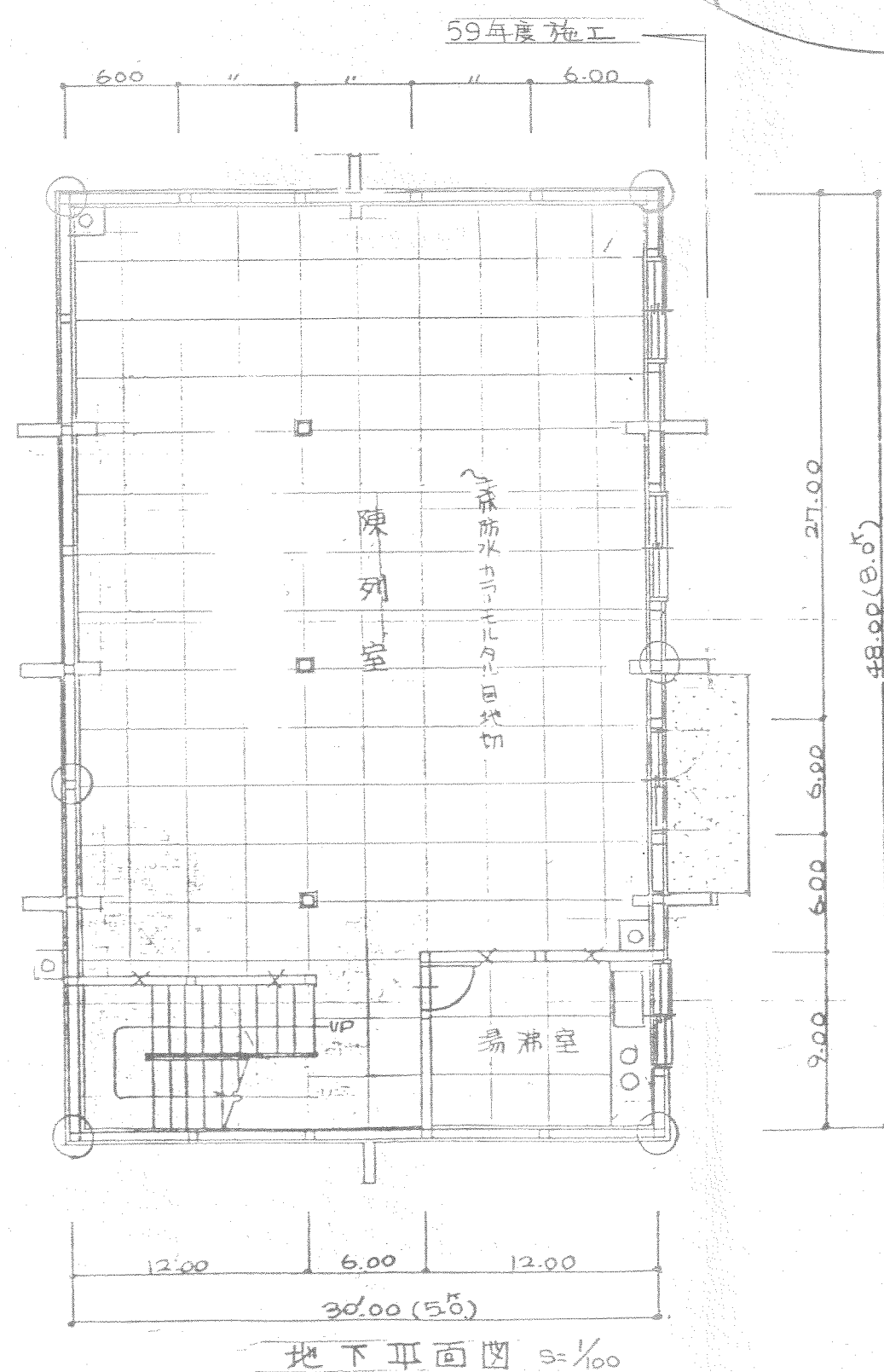


2 階平面図



面積表		
	M ²	(坪)
1階	197.485	59.750
2階	189.222	57.250
3階	16.224	4.908
計	402.931	121.908

面積表		
地	下	123.23m ² (40.00坪)
1	階	123.23 (40.00坪)
2	階	123.23 (40.00坪)
1.2	階	12.03 (3.64坪)
延	坪	381.72 (123.64坪)



- 特記**
- 1) ビニルコードは小判形 1.25²-2C(50mm) とする。
 - 2) テーブルタップは3ヶ所 とする。
 - 3) 陳列ケース内の配線はモール(1号系)にて保護する。
 - 4) 陳列ケース内の照明器具は上部取付とする。
 - 5) 〇 〇 〇 は下部

名称 網走市立郷土博物館 改修工事設計図

図面名 平面図 SCALE 1:100
図面名 陳列ケース照明図 SCALE 1:

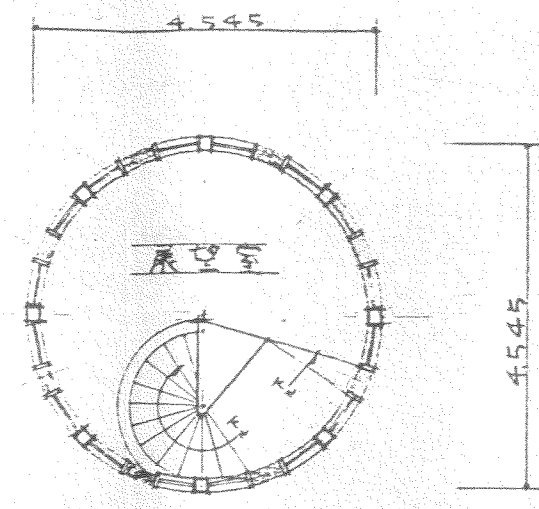
網走市建築課

課長 係長 設計 製図

設計年月 設計 級建築士登録

第 号

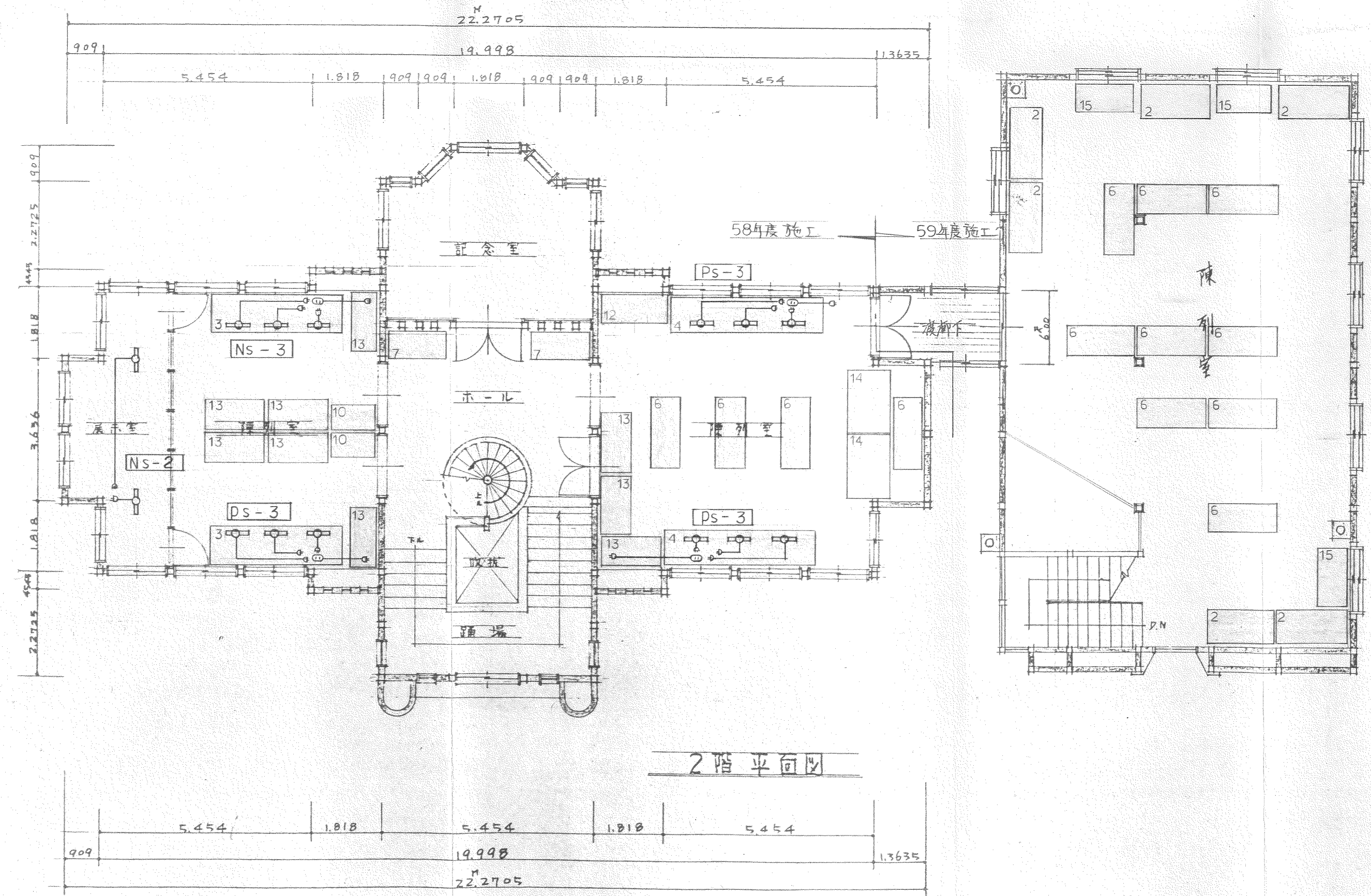
NO 54/6



3階平面図

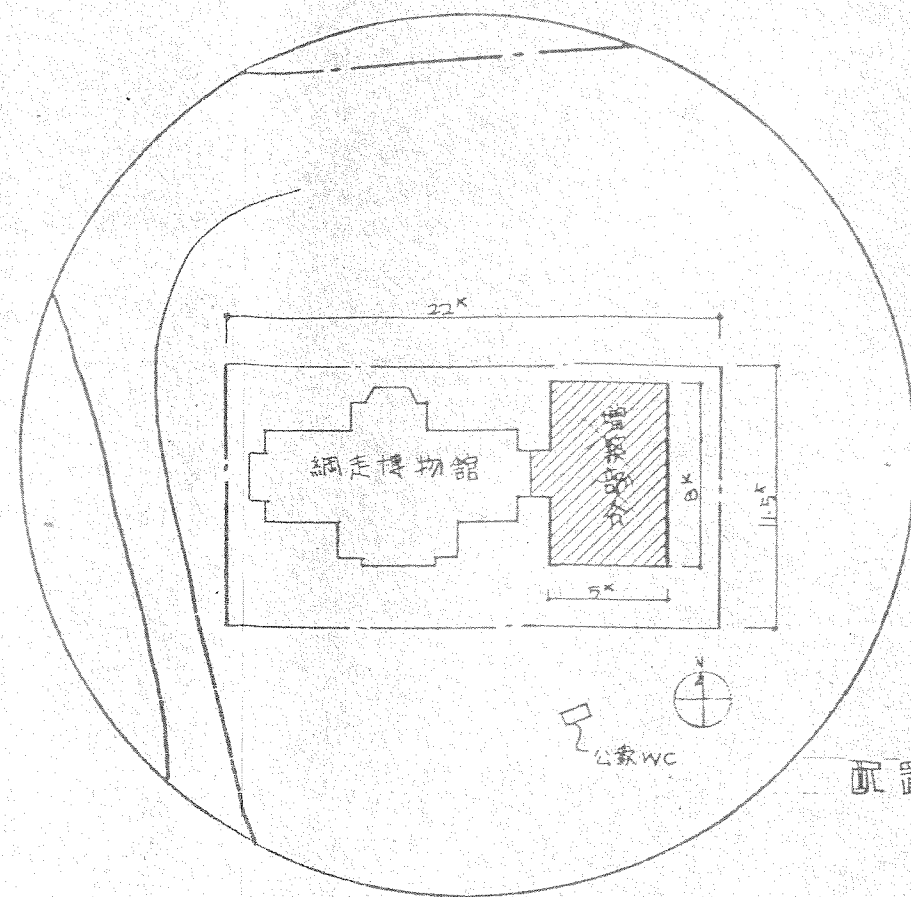
陳列ケースリスト(cm)

No	H	W	D
1	248	180	90
2	240	180	90
3	235	340	100
4	230	390	90
5	215	178	70
6	210	180	75
7	181	150	72
8	180	150	75
9	180	150	70
10	180	120	90
11	160	165	90
12	103	165	70
13	90	151	74
14	88	166	107
15	80	148	75
16	260	155	95
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			



2階平面図

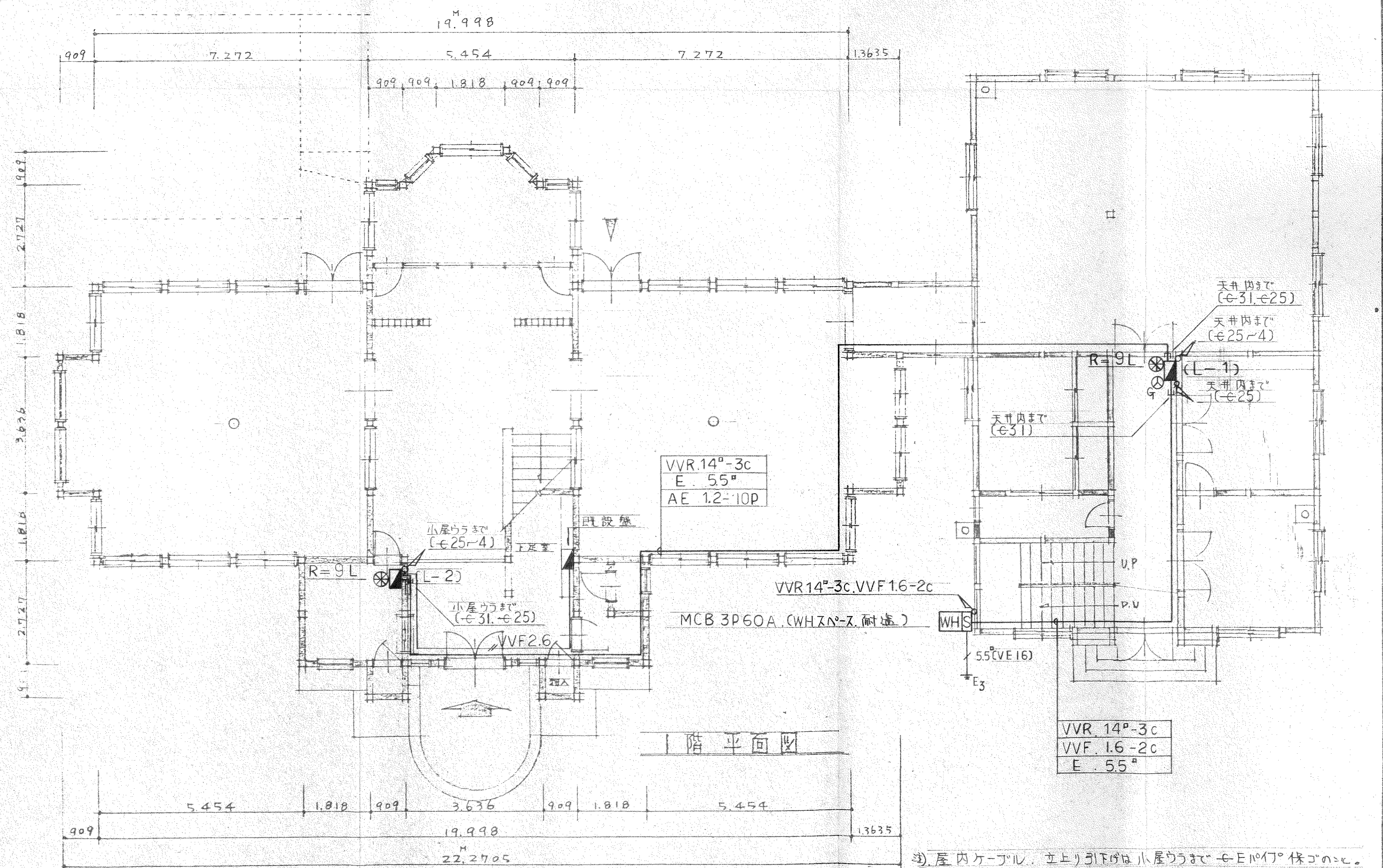
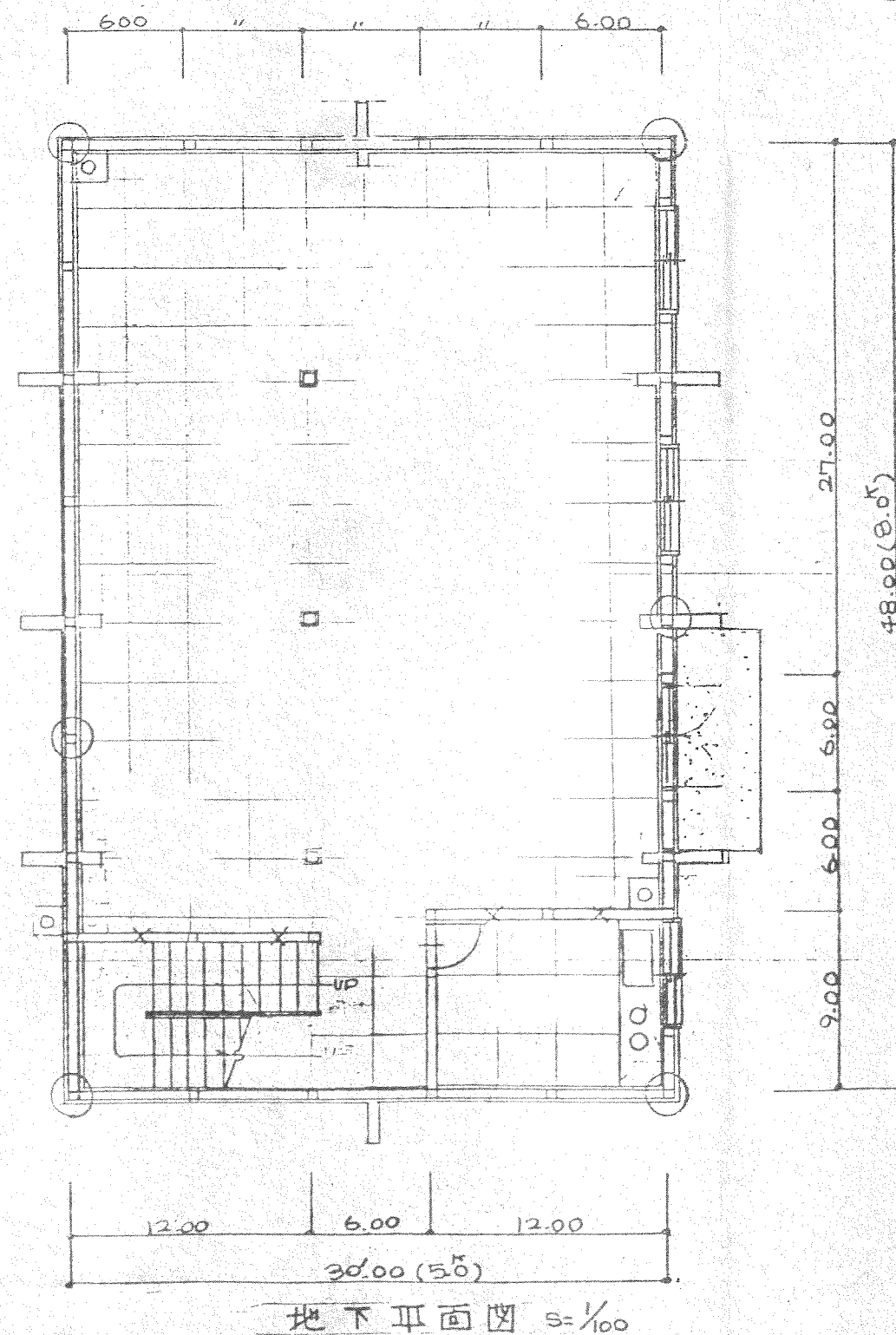
参考図



配置図 1/600

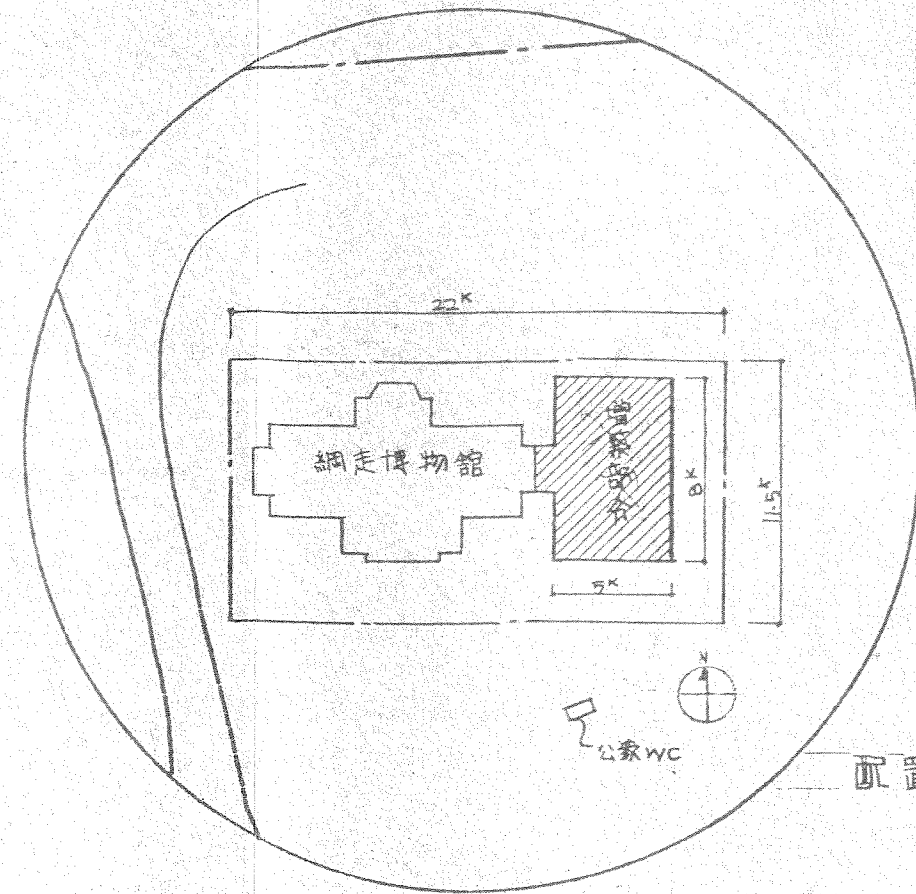
面積表		
	M ²	(坪)
1 階	197.485	59.750
2 階	189.222	57.250
3 階	16.224	4.908
計	402.931	121.908

面積表		
地	下	坪
1	階	40.00
2	階	40.00
1,2 階	合計	80.00
延	坪	123.64



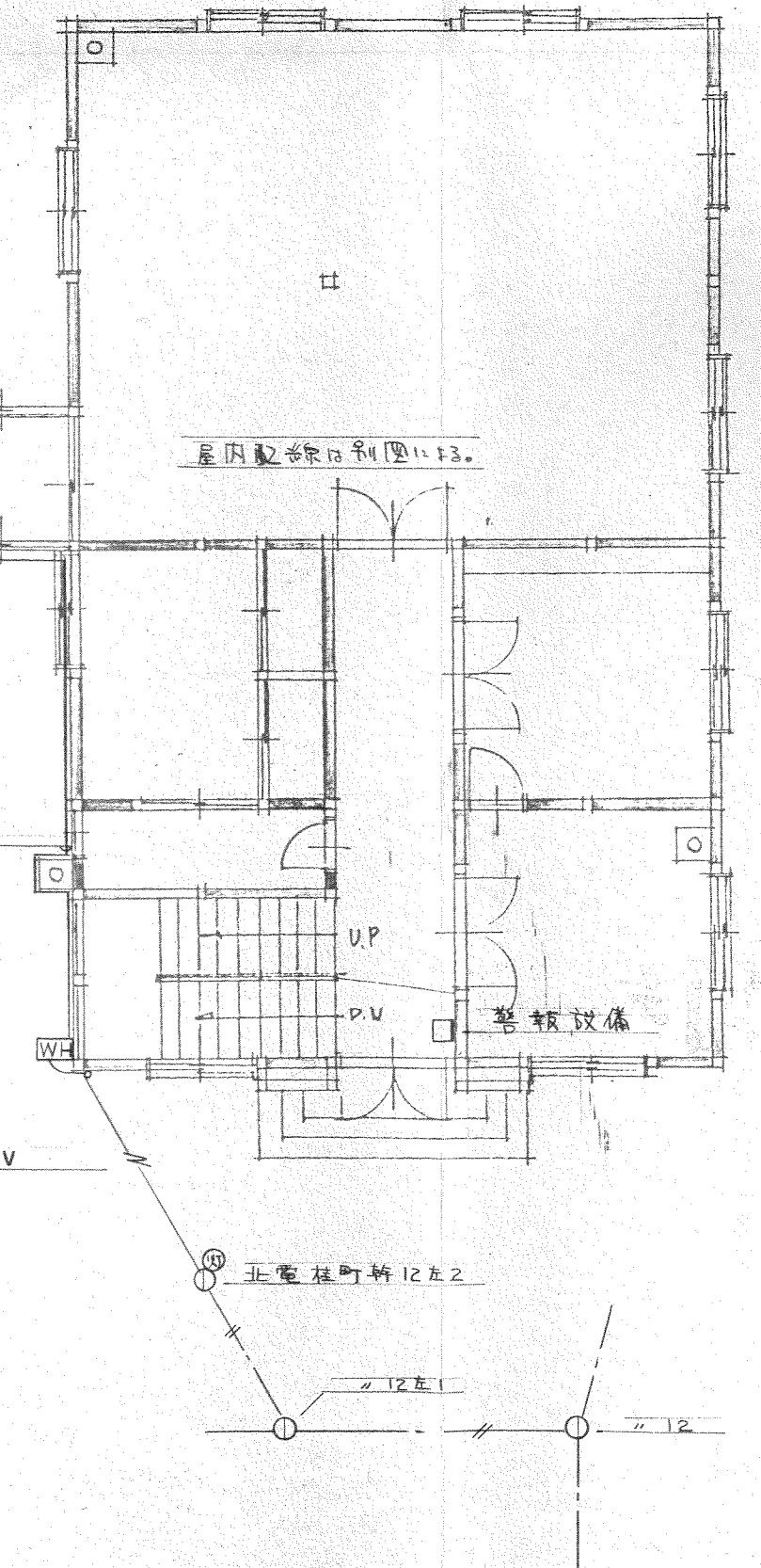
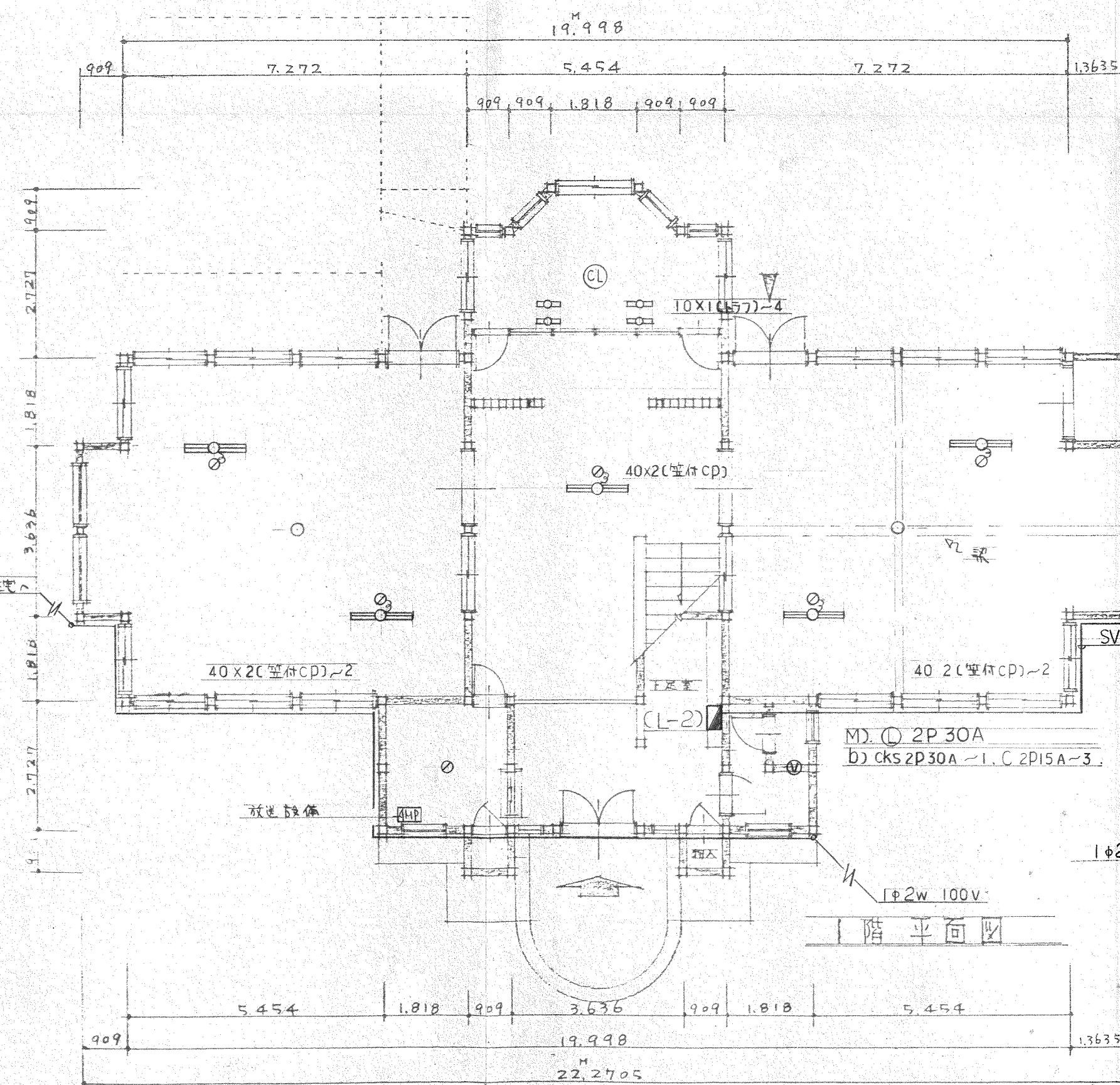
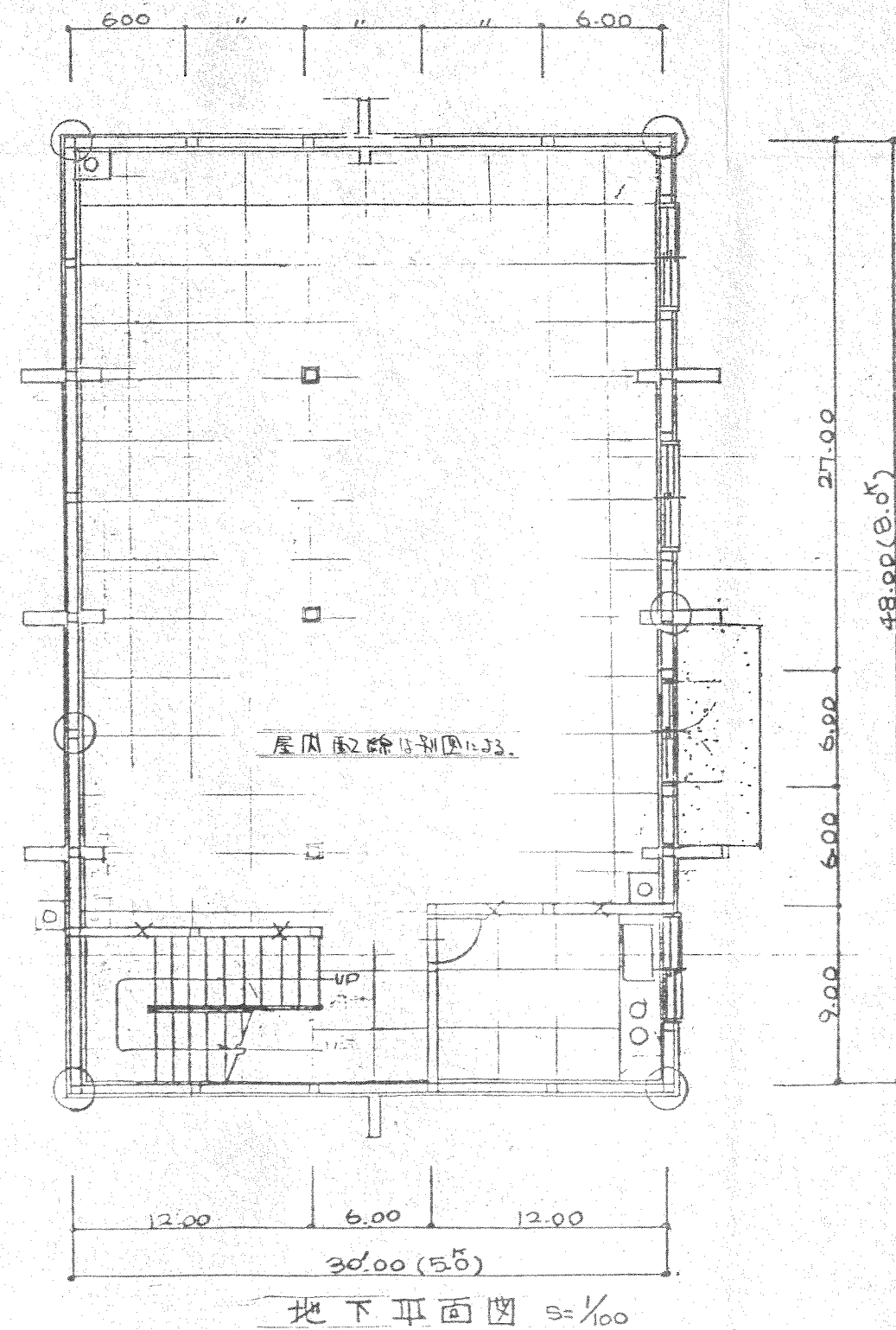
② 屋内ケーブル、立上り下りは小屋ウラまで E=17° 係ゴのヒ。

参考図



面積表		
	M ²	(坪)
1 階	197.485	59.750
2 階	189.222	57.250
3 階	16.224	4.908
計	402.931	121.908

面積表		
地	下	123.23 m ² (40.00 坪)
1	階	123.23 (40.00 坪)
2	階	123.23 (40.00 坪)
1.2	階	12.03 (3.64 坪)
延	坪	381.72 (123.64 坪)



名称 網走市立郷土博物館 工事設計図

図面名 平面図 (改修前) SCALE 1:100
図面名 SCALE 1:

網走市建築課

課長 係長 設計 製図

設計年月 57年11月

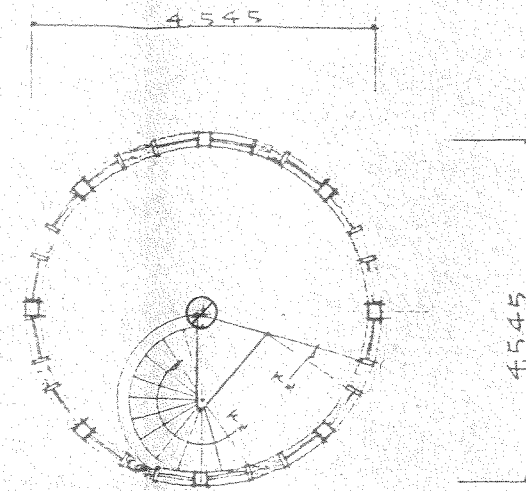
設計

級建築士 登録

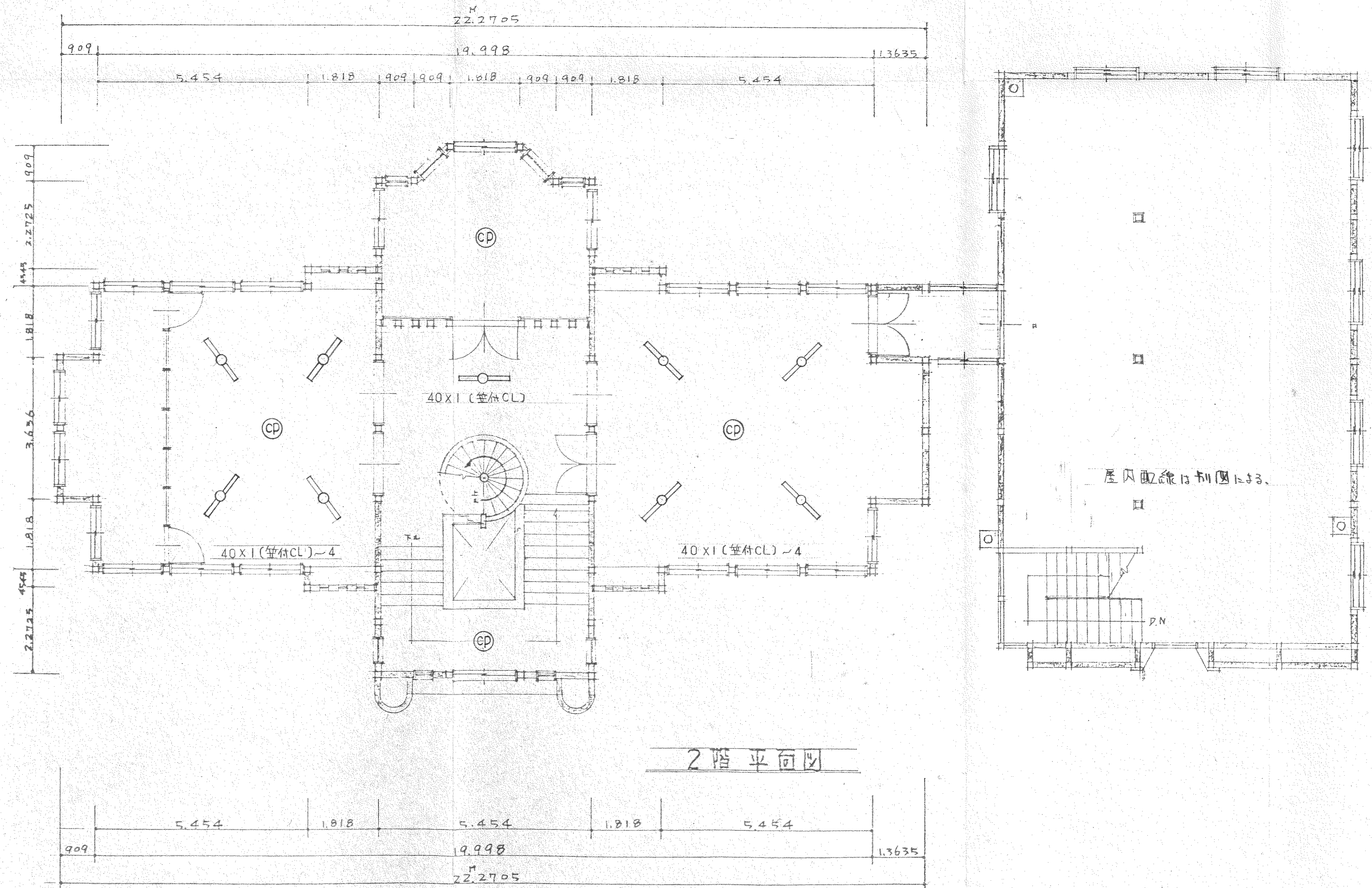
第 号

NO

1/2



3階平面図



2階平面図